



藤江 久子 議員

### 男女共同参画社会の構築に向けて

【問】今回のオリンピックは、歴史上初めて、すべての国で男女が参加した記念すべき回となった。日本で初めて出場した女子は人見絹枝さんである。陸上800mで銀メダルを取ったが、当時の社会からはさんざん批判を浴びた。もしその頃の常識（女だから）を彼女が受け入れていたら、吉田沙保里さんもなでしこジャパンもいなかったかもしれない。日本のメダル数も人気も半減したであろう。今もこれと同様なこと（女性に能力を生かす機会を与えないこと）があるのです。地域や会社においてである。高知

もしも、オリンピックに女子が参加できなかったら…

市では町内会長の1/4は女性である。町内に女性部がないから逆に女性に機会が与えられるのであろう。そこで高山市の女性組織の在り方については。

【答】女性組織においても、うまく機能していない等の提起がされている。今後、議論を進めて行く。

### 職員の英語能力の向上について

【問】英語が出来るようになることは良い事だが、それを昇任の必須条件にするとすると、多くの不利益（他の能力は高いが、英語は苦手という職員の能力が生かされない等）が懸念される。また職員にとって大きなストレス

になると思うが、再考できないか。



### 観光振興について

【問】愛媛県松山市では、担当課を作り「松山ブランド」を追及・広めるための「戦略ビジョン」を作成。また「オイル松山」体制により

市民ぐるみで市の魅力アップとPRに努めている。高山市も市民ぐるみの観光振興ビジョンを作成すべきではないか。また、その一環ともなる「中高生の観光特別大使」を任命できる方法も検討してほしい。

【答】松山市の事は参考にさせてもらう。観光大使のことは関係課と協議し前向きに検討する。



谷澤 政司 議員

### 市民の安全確保には情報網の公平性を！

災害時に向け情報通信網の公平で格差のない整備を急がなければ

【問】ケーブルテレビの未整備状況は。

【答】世帯数では全市3万4千のうち4千が未整備。

【問】整備地区での加入の現状は。

【答】平成23年度末で約30%。高山地区は約20%の世帯が加入。

【問】市民への情報伝達ツールの公平性・共有化の取り組みは。

【答】情報通信の格差解消に向け、関係機関と協議しながら取り組みたい。

【問】市長の公的資金導入発言の考えは。

【答】ケーブルテレビの整備においては、市としても実現に向け支

援が必要と考えている。

### 景気に第二弾プレミアム付き商品券販売を

【問】目的の地元企業の活性化が図れたのか。

【答】販売は4割と低調で市内の景気のテコ入れには不十分だった。

【問】冬に向け第二弾の販売取り組みを。1世帯あたり購入金額5万円を拡大しては。

【答】冬に向け第二弾の販売取り組みを。1世帯あたり購入金額5万円を拡大しては。



第2弾の発売が決定！（上限が5万円から10万円に）

【答】実行委員会と検討していきたい。

観光産業は、すそ野が広く経済波及効果が大きい。観光に特化した経済対策は

【問】高山での滞在が数時間で日帰り客が多い。宿泊客を増やすため、宿泊割引券や観光施設入館割引券等への取り組みを。

【答】事業の効果を検証しながら、戦略的な誘客宣伝の展開に努めたい。

【問】2年後は高山本線開通80周年と北陸新幹線・東京金沢間の開業により、観光客の流れが大きく変わる。現時点の取り組みは。

【答】新幹線開通後はJR利用客は、これまでの1.5倍になると考える。関係市村・交通事業者と連携したバス路線等を整備し、北陸新幹線を利用した旅行の提案を積極的に行きたい。